

HCG シンポジウムのためのテンプレートファイル

HCG シンポジウムのためのサンプルファイル

電子 花子[†] 情報 太郎^{††} 通信 次郎^{††}

[†] 第一大学工学部 〒105-0123 東京都港区山田 1-2-3

^{††} 大阪株式会社開発部 〒565-0456 大阪府吹田市河田 4-5-6

E-mail: [†]hanako@denshi.ac.jp, ^{††}{taro,jiro}@jouhou.co.jp

あらまし 電子情報通信学会 HCG シンポジウム原稿用の p^LA^TE^X 2_ε クラスファイル, ieicejsympo.cls について説明します. 本クラスファイルに基づく記述の仕方, 注意事項等を説明します. 本クラスファイルは, アスキー版 p^LA^TE^X 2_ε に基づいて作成しています.

キーワード L^AT_EX 2_ε, アスキー版 p^LA^TE^X 2_ε, タイピングの注意事項

Template file for the HCG Symposium

Sample file for the HCG Symposium

Hanako DENSHI[†], Jiro JOHO^{††}, and Ichiro TSHUSIN^{††}

[†] Faculty of Engineering, First University Yamada 1-2-3, Minato-ku, Tokyo, 105-0123 Japan

^{††} R&D Division, Osaka Corporation Kawada 4-5-6, Suita-shi, 565-0456 Japan

E-mail: [†]hanako@denshi.ac.jp, ^{††}{taro,jiro}@jouhou.co.jp

Abstract IEICE (the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers) provides a p^LA^TE^X 2_ε class file, named ieicejsympo.cls for the HCG Symposium of IEICE. This document describes how to use the class file, and also makes some remarks about typesetting a document by using p^LA^TE^X 2_ε. The design is based on ASCII Japanese p^LA^TE^X 2_ε.

Key words p^LA^TE^X 2_ε class file, typesetting

1. まえがき

HCG シンポジウム原稿を ieicejsympo.cls を利用して執筆する際に必要なことを解説します. 原稿執筆上の注意事項は, 「電子情報通信学会 HCG シンポジウム執筆要項」を参照してください.

コンパイルに必要なクラスファイルは, ieicejsympo.cls だけです. sympo.tex は, このクラスファイルを使用した場合のサンプルファイルかつテンプレートファイルです.

2. 図表の貼付

本原稿内に図表を貼り付ける場合は, 以下の例を参考にしてください. 図 1 として図を貼り付けています. この例では Illustrator で作成した pdf ファイルを図として貼り付けていますが, graphicx パッケージを使う場合は, 一般的な jpeg ファイル, png ファイルなどもそのまま貼り付けられます. なお, このサンプルファイルは pdf ファイルの作成に dvipdfmx コマ

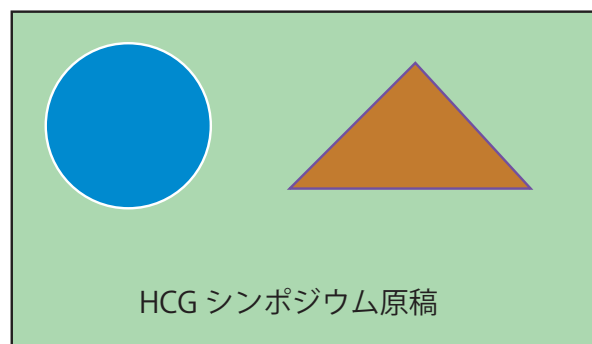


図 1 図キャプションの例

ンドを用いております.

また, 表 1 として, 表を貼り付けています. 表のキャプションは上に置きます.

表 1 ヒューマンコミュニケーショングループ

第 1 種研究会	
ヒューマンコミュニケーション基礎研究会	HCS
ヒューマン情報処理研究会	HIP
メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会	MVE
福祉情報工学研究会	WIT
第 2 種研究会	
発達障害支援研究会	ADD
ヒューマンプロープ研究会	HPB
情報の認知と行動研究会	ICB
魅力工学研究会	AC
コミック工学研究会	CC
第 3 種研究会	
ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション研究会	VNV
リアルタイムコミュニケーション言語研究会	LARC

3. bibtex を使う場合

参考文献リストの作成に bibtex を用いる場合は、同梱した電子情報通信学会和文論文執筆用スタイルファイルのなかの bst ファイルを用いてください。

文 献

- [1] D.E. クヌース, 改訂新版 T_EX ブック, アスキー出版局, 東京, 1992.
- [2] 磯崎秀樹, L^AT_EX 自由自在, サイエンス社, 東京, 1992.
- [3] S. von Bechtolsheim, T_EX in Practice, Springer-Verlag, New York, 1993.
- [4] 藤田眞作, 化学者・生化学者のための L^AT_EX—パソコンによる論文作成の手引, 東京化学同人, 東京, 1993.
- [5] 阿瀬はる美, てくてく T_EX, アスキー出版局, 東京, 1994.
- [6] N. Walsh, Making T_EX Work, O'Reilly & Associates, Sebastopol, 1994.
- [7] D. Salomon, The Advanced T_EX book, Springer-Verlag, New York, 1995.
- [8] 藤田眞作, L^AT_EX マクロの八衢, アジソン・ウェスレイ・パブリッシャーズ・ジャパン, 東京, 1995.
- [9] 中野賢, 日本語 L^AT_EX 2_ε ブック, アスキー出版局, 東京, 1996.
- [10] 藤田眞作, L^AT_EX 2_ε 階梯, アジソン・ウェスレイ・パブリッシャーズ・ジャパン, 東京, 1996.
- [11] 乙部巖己, 江口庄英, pL^AT_EX 2_ε for Windows Another Manual, ソフトバンク パブリッシング, 東京, 1996–1997.
- [12] ポール W. エイブラハム, 明快 T_EX, アジソン・ウェスレイ・パブリッシャーズ・ジャパン, 東京, 1997.
- [13] 江口庄英, Ghostscript Another Manual, ソフトバンク パブリッシング, 東京, 1997.
- [14] マイケル・グーセンス, フランク・ミッテルバッハ, アレキサンダー・サマリン, L^AT_EX コンパニオン, アスキー出版局, 東京, 1998.
- [15] ビクター・エイコー, T_EX by Topic—T_EX をよく深く知るための 39 章, アスキー出版局, 東京, 1999.
- [16] レスリー・ランポート, 文書処理システム L^AT_EX 2_ε, ピアソンエデュケーション, 東京, 1999.
- [17] 奥村晴彦, [改訂版] L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門, 技術評論社, 東京, 2000.
- [18] マイケル・グーセンス, セバスチャン・ラッツ, フランク・ミッテルバッハ, L^AT_EX グラフィックスコンパニオン, アスキー出版局, 東京, 2000.
- [19] マイケル・グーセンス, セバスチャン・ラッツ, L^AT_EX Web コンパニオン—T_EX と HTML/XML の統合, アスキー出版局, 東京, 2001.
- [20] ページ・エンタープライゼス(株), L^AT_EX 2_ε マクロ & クラス

プログラミング基礎解説, 技術評論社, 東京, 2002.

- [21] 藤田眞作, L^AT_EX 2_ε コマンドブック, ソフトバンク パブリッシング, 東京, 2003.
- [22] 吉永徹美, L^AT_EX 2_ε マクロ & クラスプログラミング実践解説, 技術評論社, 東京, 2003.